

イベントタイムスケジュール

※21日(月)に酒田市美術館中庭(野外)で予定している催しについては、前日20日(日)午後6時時点で天候の判断をし、希望ホールホームページにて会場をお知らせいたします。希望ホールホームページ <http://www.kibou-hall.sakata.yamagata.jp/>

会場	10:00~	11:00~	12:00~	13:00~	14:00~	15:00~	16:00~
21 (月) (祝)	酒田市美術館 おそとでアート!	11:00 風と光のコンサート		13:00 よねさんの紙芝居	14:00 おそとでアート! 14:15 風と光のコンサート		
	出羽遊心館 酒田舞娘の踊り					15:30 酒田舞娘の踊り	
22 (火) (祝)	出羽遊心館 よねさんの紙芝居	11:00 島山秀樹による フラワーアートの世界 11:45 琵琶弾き語りの世界		13:00 酒田舞娘の踊り	14:00 劇団ワンライブ 朗読劇	15:00 琵琶弾き語り の世界	16:00 劇団ワンライブ 朗読劇



令和2年度
酒田市文化芸術推進事業

サカタ アートマルシェ 2020

祈りと希望
～アートから祈りを～

関連事業

酒田市美術館特別企画展 -二つの東海道五拾三次- 歌川広重展

9月5日(土)～10月18日(日) 会期中無休
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

要入場料 一般900円、高校生450円、中学生以下無料

山形県酒田市飯森山三丁目17-95
TEL 0234-31-0095
<https://www.sakata-art-museum.jp>

Sakata City Museum of Art
酒田市美術館

第39回 土門拳賞 受賞作品展 藤本巧

「寡黙な空間
韓国に移住した
日本人漁民と花井善吉院長」

8月28日(金)～10月11日(日) 会期中無休

土門拳賞受賞作家 藤本 巧 氏ギャラリートーク

9月26日(土)午後2時～ **参加無料(要入館料)** **要予約**

没後30年 土門拳の室生寺

8月28日(金)～10月11日(日)

没後30年 土門拳へのオマージュ
島山秀樹 花の作品展示「木と金属と花と」

9月12日(日)～18日(金)
記念館内3カ所(主要展示室、勅使河原宏の「流れ」、記念館中庭)

第15回「わたしのこの一枚」写真展

9月19日(土)～10月11日(日)

館内での展示をご覧になりたい方は入館料が必要です。

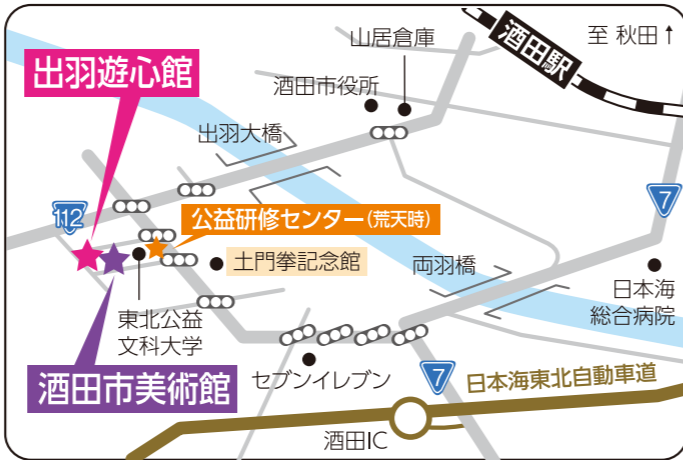
山形県酒田市飯森山2丁目13(飯森山公園内) Ken Domon Museum of Photography
TEL/FAX 0234-31-0028
<http://www.domonken-kinenkan.jp/>

土門拳記念館

15日～27日 10:00～15:00

福祉事業所 作品物販

酒田市美術館ミュージアムショップ



お申込み・事業に関するお問い合わせ

酒田市社会教育文化課 (平日 9時～17時)
電話 0234-24-2982 / MAIL art@city.sakata.lg.jp
URL <http://www.city.sakata.lg.jp>

当日キャンセルのご連絡先

酒田市民会館「希望ホール」 電話 0234-26-5450

各会場のお問い合わせ

酒田市美術館 酒田市飯森山三丁目17-95
電話 0234-31-0095

出羽遊心館 酒田市飯森山三丁目17-86
電話 0234-31-3737

公益研修センター 酒田市飯森山三丁目5-1
電話 0234-41-1117



アマビエさま / 佐藤真生

入場料無料

※酒田市美術館の
常設展・特別展は要入場料

9/15

9/27

9時～17時

(入館は16時30分まで)

出羽遊心館

酒田市美術館 市民ギャラリー・中庭

〔荒天時は一部公益研修センターに変更あり〕

アートのカーンこそアートを
今年で3回目を迎えるアートマルシェ。
コロナ禍ゆえの「祈りと希望」アートから祈りを
をテーマに、命の大切さを考える機会になればとの
思いをこめて開催します。
アートの表現は、生きていることの証です。
マルシェをおとし、一人ひとりのカラフルな個性と
可能性を感じていただくことにより、生きることの
意味や共生社会を考える機会になれば幸いです。



新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場の際はマスクの着用・消毒・検温にご協力をお願いいたします。3密をさけるために、全てのイベントが予約制または入場制限有りとなさせていただきます。

主催 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議・酒田市

- 協賛企業 東北エプソン株式会社、平田牧場グループ、株式会社荘内銀行、酒田金融協会、加藤総業株式会社、株式会社小松写真印刷、進和ラベル印刷株式会社、株式会社エルデック、国際ソブチミスト酒田、酒田米菓株式会社
- 協力 株式会社ディスカバー・ジャパン、酒田市美術館
- 協力団体 生活介護センターふれあい、NPO法人あらた、障がい者支援施設 光風園、放課後等デイサービス事業所 ならはし、障がい者支援施設 和光園、多機能型事業所 ふれんず、山形県立酒田特別支援学校、酒田東病院 ディケア パレット、医療法人酒田東病院、多機能型事業所 さごし、就労継続支援B型事業所 まざーずはーと、障がい福祉サービス事業所 いっば、共同生活事業所 なごみ、共同生活事業所 仲町ホーム、福祉施設 ひょっこり島、酒田市障がい者福祉会、医療法人山容会山容病院
- 助成 一般財団法人地域創造

酒田市出身の画家 佐藤真生氏の作品、酒田市の障がいのある方から募集した作品、アマビエ公募作品を一つの企画展にしました。

公募作品数 93点

この作品展を開催するにあたり、出展団体のみなさんを対象に研修「作品展をつくろう!@酒田」を3回シリーズで実施しました。福祉事業所などのみなさんが、佐藤真生さんや専門家と共に、作品の魅力を伝えることなど、実践を通して学びながら、みんなで作品展を作り上げました。



花 / 阿部浩紀



企画：やまがたアートサポートセンターら・ら・ら 協力：ふれあい、ひよこり島、和光園
会場内では、出展作家のドキュメント映像作品を上映します。



たいようの絵 / 齋藤淳



刺しゅう / 佐藤理恵子



公募作品

みんなのアマビエさま、大集合!

江戸時代、肥後国に現れたという妖怪。海中から光をかがやかせるなどの現象を起こし、豊作・疫病などに関する予言をしたとか…。このことから、酒田市においても新型コロナウイルスに打ち勝つため、アマビエ様の作品を募集しました。

応募作品数 154点

お申し込みは裏面 酒田市社会教育文化課まで。

新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場の際はマスクの着用・消毒・検温にご協力をお願いいたします。3密をさけるために、全てのイベントが予約制または入場制限有りとなさせていただきます。

21日

おそとでアート!

会場：酒田市美術館中庭
時間：1回目 10時～、2回目 14時～
講師：松村泰三 (東北芸術工科大学准教授)
内容：ワークショップ
①光の箱をつくろう。
②風の魚をあそぼう。
定員：各回 15名

荒天時 公益研修センター
申し込み: 必要



光の箱



風の魚

21日 風と光のコンサート

会場：酒田市美術館中庭
必要の方は敷物をご持参ください。
時間：1回目 11時～11時45分、
2回目 14時15分～15時
各回 西濱秀樹による
おもしろトークあり
出演：山形交響楽団員
定員：各回 50名
曲目：この素晴らしき世界ほか



山形交響楽団金管八重奏
荒天時 公益研修センター
申し込み: 必要

22日

劇団ワンライブ朗読劇

会場：出羽遊心館
時間：1回目 14時～、2回目 16時～
出演：劇団 OneLive
朗読作品：安房直子「鳥」ほか
定員：各回 30名



申し込み: 必要

21日・22日 よねさんの紙芝居

庄内各地で大人気!
紙芝居屋さんがやってきます!
会場：酒田市美術館、出羽遊心館
時間：1回目 21日 13時～14時(酒田市美術館中庭)
2回目 22日 10時～10時30分(出羽遊心館)
定員：各回 30名
出演：米田佐之助



荒天時 出羽遊心館
申し込み: 必要

21日・22日

酒田舞娘による踊り

会場：出羽遊心館 / 出演：酒田舞娘
時間：1回目 21日 10時30分～
2回目 21日 15時30分～
3回目 22日 13時00分～
定員：各回30名



申し込み: 必要

平成2年「舞娘さん制度」が創設され、酒田の新たな顔として「舞娘茶屋・相馬樓」で守り継がれています。

22日～25日 畠山秀樹によるフラワーアートの世界
HOPE—過去・現在・未来—

会場：出羽遊心館
時間：9時～17時
22日 箏の演奏に合わせたフラワーデモンストレーション
時間：11時～11時30分
出演：フラワーアーティスト 畠山秀樹
いぐたりせいは 生田流正派大師範 高瀬雅楽秋
定員：30名



畠山秀樹 高瀬雅楽秋
申し込み: 不要
デモンストレーションは申し込み必要

22日 琵琶弾き語りの世界

会場：出羽遊心館
出演：琵琶全国一水会酒田支部顧問 池田青水
時間：1回目 11時45分～、2回目 15時～
内容：兎と亀、船弁慶
定員：各回 30名



申し込み: 必要

見てカラフルな私の世界

初夏 / 田代真麻

酒田市美術館 市民ギャラリー

出羽遊心館

9/15(火)▶27(日)

共催 やまがたアートサポートセンターら・ら・ら 酒田市社会福祉協議会

夢見る金魚 (2013年酒田市蔵)

Comment 「いろいろな展」によせて

小学校2年の時、私は母と兄と一緒に地元酒田市のデパートで開催された「世界の名画展」を見に行ったことを覚えています。今考えてみれば、複製印刷画の展覧会だったと思いますが、数ある作品の中で特に気に入ってしまった絵が有名なゴッホの「アルルのはね橋」でした。そこで初めて私は、ゴッホという画家を知りました。田舎の風景の晴れ渡ったブルーの空の色が強烈に少年の心を捉えたのでした。帰りに小さな複製画を買ってもらい大切に家の部屋の壁に貼りました。

ビンセント・ヴァン・ゴッホ(1853-1890)は、現在の研究によればP型色覚障害(赤近辺の色と緑近辺の色の識別が困難)であったろうと言われています。しかし世界中の人々は、「障がい者なのにこんなに素晴らしい作品を描いたこと」に感心しているわけではなくゴッホの作品そのものに感動しているはず。ゴッホは、弟テオに膨大な量の手紙を書きました。それは現代のエッセイ文学の類とは比較にならないくらい切実にゴッホという人を浮かび上がらせ、手紙に書けない気持ちを絵で表現し、絵で描けないことを手紙に綴りました。色覚障害に限らず、作品に感動し、人生を楽しむアートの世界では、皮膚や眼の色、髪の色や国籍、性別や年齢、健康者と障がい者、身長や体重などの条件で作品の価値が変化することはありません。

「いろいろな」という名称を考えるに当たっては、壁がなく自由にとどこまでも広がった世界観を大切にしました。「いろ」は個性、作品、色彩を表しています。今、世界の人々にとってアートが必要とされる理由の一つは、アートが「多様性を認めることの大切さ」に気づかせてくれるからです。

ゴッホは、自分の作品が100年後、遠く離れた日本の酒田市の小学生に感動を与えることになるのは夢にも思わなかったでしょう。そう考えるとアートは時間さえ超えて人々の心に感動を届けてくれる力があると信じています。

佐藤真生



さとう まさお 佐藤 真生 (MAO)

1963年酒田市長。東京学芸大学大学院修了1990年目黒区美術館での初個展が目黒区美術館で、その後数々のコンクールで受賞。1993年安井賞展賞候補。日本、ニューヨーク、パリ、シドニー、シンガポール等で展覧会。また2016年より地域伝承文化をテーマとした「YUME-KASAFUKU(夢傘福) PROJECT」に取り組みフィンランドやニュージーランド等でワークショップ・展示発表。2019年「コンパスヨコハマ2019」アートディレクション担当。



コンパスヨコハマ2019の様子



アマビエさま (作家蔵)